

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	マダガスカル
2. 事業名	自然環境保全に関わる環境教育実践プログラム研修
3. 事業の背景と必要性	マダガスカルには他に類を見ない生物多様性があることで知られているが開発と人口増加のため急速に破壊されつつあり、環境保全は国の最重要課題の1つになっている。チンバザザ動植物公園の環境保全研修センターを活用し、人材育成を通じて同国の環境保全や環境教育の発展に貢献する協力が求められている。
4. 事業の目的	仙台市八木山動物公園と宮城教育大学が有する環境教育に関する経験・技術がチンバザザ動植物公園に移転され、チンバザザ動植物公園における環境教育のリーダーと成りえる人材が育成されること。
5. 対象地域	首都アンタナナリブ近郊
6. 受益者層	<ul style="list-style-type: none">● チンバザザ動植物公園職員● チンバザザ動植物公園を利用する学校・NGO・政府機関● チンバザザ動植物公園の自然保護活動先である地方農村民
7. 活動及び期待される成果	3年間の研修員受入・専門化派遣を通じて、動物園における環境教育の体制を整備、環境教育のための人材育成、環境教育の実践活動と交流を行う。
8. 実施期間	平成20年9月～平成23年3月
9. 事業の実施体制	全ての研修・専門家派遣において、八木山動物公園と宮城教育大学の連携協定に基づき、共同実施する。 八木山動物公園とチンバザザ動植物公園は協力協定を結び、マ国の動物保護に関わる研究・教育・普及を実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	仙台市八木山動物公園・宮城教育大学（仙台市）
2. 対象国との関係、協力実績	八木山動物公園は平成18年度に対象機関を視察。両園は共同声明、協力協定を樹立し同国の環境保全に貢献するため、環境教育・調査研究・普及活動を共同して取り組むことに合意。平成19年10月に共同声明、平成20年5月に協力協定を締結している。